

## [商学部] 履修登録時の留意点

### 【履修登録時の注意事項】

- 各個人において、履修登録ができない科目（配当年次が違う、履修条件を満たしていない等）は画面に表示されません。
- 履修登録数が上限に達した科目は表示されません。（下記参照）
- 1年間の履修制限単位（48単位）を超えて登録できません。  
※ただし、教職課程、図書館司書課程、その他諸資格取得に必要な科目で単位に含まれない科目は、履修制限単位に含まれません。

その他、履修登録については、2022年度商学部学修ガイドブックを熟読の上、各種項目に留意ください。学修ガイドブックの記載事項から変更または追加があったものに関しては赤字で掲載しています。

### 履修科目の注意事項

下記の科目は、次の点に留意して履修科目を登録してください。

各科目のⅠ・Ⅱ	履修条件のある科目がありますので、シラバス「履修上の留意点」を参照してください。特にⅠ・Ⅱの同時履修が必要な科目については、注意してください。
各科目の(a)(b)他	同一担当者または複数担当者が同じ授業内容を、異なった時間で実施する授業のため、どれか一つを履修してください。

### 【履修条件科目】

2022年度開講科目	注 意 事 項
教養科目全科目	各クラス先着 150 名 ※一部、定員が異なる教養科目があります。
基礎統計数学Ⅰ・Ⅱ	2015～2021年度入学生のみ履修可。 Ⅰ：先着 20 名、Ⅱ：先着 10 名（統計学Ⅰ・Ⅱと同時開講）
統計学Ⅰ・Ⅱ	2022年度入学生のみ履修可。 Ⅰ：先着 104 名、Ⅱ：先着 66 名
スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲ	各クラス定員上限あり 教職課程やその他資格にスポーツ実技の単位が必要な学生優先。
久留米・筑後体験演習(a)(b)	1年生のみ履修可、事前の希望調査・抽選あり
地域学演習Ⅰ・Ⅱ	久留米学(歴史と環境)または(文化と社会)を修得済もしくは履修中の者のみ履修可。各先着 50 名
地域連携特講	先着 15 名、久留米学を修得済もしくは履修中の者のみ履修可。
人間関係トレーニング入門	各クラス先着 50 名
データサイエンス概論	先着 50 名
データサイエンス実践	先着 40 名

2022 年度開講科目	履 修 条 件
大学とキャリア	1 年生のみ履修可。各クラス先着 120 名
インターンシップ	1～3年生のみ受講可。先着 70 名
仕事とキャリア	2～4 年生のみ履修可。大学とキャリア、社会とキャリア、インターンシップ、グローバル・キャリアのいずれかを修得済みの者のみ履修可。
キャリア・フィールドワーク	2・3 年生のみ履修可(原則、4 年生は受講不可)。大学とキャリア、社会とキャリア、仕事とキャリア、インターンシップ、グローバル・キャリアのいずれかを修得済みの者のみ履修可。先着 30 名
キャリア・プロジェクト	3 年生のみ履修可(原則、4 年生は受講不可)。大学とキャリア、社会とキャリア、インターンシップ、グローバル・キャリアのいずれかを修得済みの者のみ履修可。先着 30 名
グローバル・キャリア	1～3 年次のみ履修可。Web 履修不可。エントリー選考にて受け付け。
情報処理入門Ⅰ・Ⅱ	再履修の場合は、原則として 1 年次と同じクラスを履修してください。
簿記入門	再履修の場合は、未修クラスで受講してください。
商学入門Ⅰ・Ⅱ	再履修・他学部の場合は、(ウ)のクラスで受講してください。
経営学入門Ⅰ・Ⅱ	再履修・他学部の場合は、(ウ)のクラスで受講してください。各クラス先着 100 名 ※ただし、再履修の学生で履修が出来なかった場合は、定員を超えていても履修可能。教務課窓口に来てください。
会計学入門Ⅰ・Ⅱ	再履修・他学部の場合は、(ウ)のクラスで受講してください。
医療マネジメント論Ⅰ・Ⅱ	2020 年度に「医業経営コンサルティング論Ⅰ・Ⅱ」修得者は履修不可。
実践ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ	留学生のみ履修可。
実践ビジネス応用日本語Ⅰ・Ⅱ	留学生のみ履修可。
地域産業研修 B	10 名程度、後日募集、2・3 年生のみ
情報化と職業	2020 年度以降入学生は選択科目の共通科目。 2015～2019 年度入学生は関連科目(振替上限 12 単位に注意)。
ファイナンシャルプランナー基礎Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
ファイナンシャルプランナー応用Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
マーケティング論Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
国際マーケティング論Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
貿易論Ⅰ・Ⅱ	各先着 190 名
観光ビジネス論Ⅰ・Ⅱ	各先着 130 名
保険システム論Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
保険産業論Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
国際金融論Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
基礎データ分析Ⅰ・Ⅱ	PC 必携科目、「情報処理入門(Ⅰ/Ⅱ)」認定・修得者のみ。 1 年生:各先着 25 名、2 年生:各先着 25 名
経営心理学Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱの同時履修を推奨しています。
経営統計論Ⅰ・Ⅱ	各先着 40 名

2022 年度開講科目	履 修 条 件
プログラミング原論Ⅰ・Ⅱ	各先着 50 名
企業論Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
経営情報システム論Ⅰ・Ⅱ	各先着 35 名
国際経営論Ⅰ・Ⅱ	各先着 187 名
応用情報科学Ⅰ・Ⅱ	各先着 25 名
コンピュータ原論Ⅰ・Ⅱ	各先着 50 名、PC 必携科目
経営学特講Ⅰ・Ⅱ	各先着 50 名
上級簿記 AⅠ・Ⅱ / BⅠ・Ⅱ	AⅠ・Ⅱ, BⅠ・Ⅱの 4 科目を同時履修してください。
上級簿記 CⅠ・Ⅱ / DⅠ・Ⅱ	CⅠ・Ⅱ, DⅠ・Ⅱは 4 科目を同時履修してください。
中級簿記 AⅠ・AⅡ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
中級簿記 BⅠ・BⅡ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
原価計算論Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
財務諸表論Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
税務会計論Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
経営情報分析論Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
会計監査論Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
管理会計論Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
会計史Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
知財会計論Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
実践会計論Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱを同時履修してください。
社会言語学Ⅰ・Ⅱ	日本語教育学課程履修者のみ履修できます。
判断推理(a)(b)(c)	履修上限: 150 名
数的推理(a)(b)(c)	履修上限: 150 名
応用判断推理(公務員試験対策)	履修上限: 150 名
応用数的推理(公務員試験対策)	履修上限: 150 名
日本国憲法	日本国憲法は教職希望者のみ履修できます。履修制限外科目です。
コンピュータデザイン	受講者多数の場合、抽選等の措置をおこないます。
アカデミックサポーター養成講座Ⅱ(実践編)	アカデミックサポーター養成講座Ⅰ(基礎編)修得済の者のみ履修可。